

平成 30 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 開催記録

開催日時 平成 30 年 5 月 28 日 (月)

開催時間 13 : 30 ~ 15 : 00

開催場所 長崎県美容専門学校 2F

出席者 森田 清美 (地域住民代表)
古川 秋利 (長崎県立五島南高等学校 元校長)
岩瀬 健一 (企業等評価委員 卒業生代表
ヘアサロン crossover play 代表)
古川 義博 (企業等評価委員 卒業生代表
Deicy & Co 代表) 委員長
松本 ゆかり (保護者代表)

1. 議 題

- 1 平成 29 年度 退学者・入学願書出願・オープンキャンパス参加数現況報告
- 2 平成 29 年度 前期学校自己点検・評価報告
- 3 損害賠償請求事件についてお詫びとご報告
- 4 次回日程の確認、検討事項

2. 議事の経過要領

1. 定刻、委員長が開会を宣し上記の通り、全員の委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。
2. 議題 1 の概要説明後、委員より意見なし。
3. 議題 2 の概要説明後、委員より下記の意見を頂いた。

【委員】 美容の楽しさを伝えてほしい。職業選択の幅が広がり、まつエクやブライダル就職を考えている学生が増えているが、美容師を辞めて、そちらの職業に流れるのではなく、一つのことをしっかりやって、広げて行ってほしい。

- 【委員】 生徒に対する質問の説明や語句が難しいのではないかと思います。難しいからあまり良い評価に繋がらないということも考えられるので、もっとわかりやすい文章に変えるべきだと思います。
- 【委員】 保護者として子供から聞く学校の内容は、入学前学修会、宿泊学修における仲間づくりや、日頃の授業で美容師としての基本をしっかりと教えてもらっているということが、よく分かる。
- 【委員】 まつエクを希望する学生が増えているのであれば、学校としてもっと窓口を増やす必要があると思う。
- 【委員】 アンケートの質問事項の中に、「どうすれば入学者が増えると思いますか？」という設問を設けるといいと思う。
- 【委員】 保護者アンケートの「卒業まで見通した就職指導、支援」に対する質問に対し、評価が低いのは、生徒の不満の表れではないかと思うので、生徒の要望を取り入れる環境を作るといいと思う。

4. 次回開催日程の確認と懸念事項が検討された。

以上を持って平成 30 年度第 1 回学校関係者評価委員会が終了したので、委員長は閉会を宣した。

平成30年度 学校関係者評価委員会

平成30年5月28日

番号	委員名	署名
1	岩崎 博圓	欠席
2	森田 清美	森田 清美
3	古川 秋利	古川 秋利
4	委員長 古川 義博	古川 義博
5	岩瀬 健一	岩瀬 健一
6	松本 ゆかり	松本 ゆかり

平成30年度 長崎県美容専門学校 自己点検・評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
(2)学校は、学習指導、生活指導をととして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	4
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
(3)運営組織や意思決定機能は、定期的に明確化されているか、また有効に機能しているか	3
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	4
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

・実技の時間を増やしてほしい

・よい学校です。

・計画通りにいかないことがあった。

【改善のための方策】

・実技の時間増については、来年度よりカリキュラム変更を行う為、対応可能である。

・急を要する場合以外の変更を極力しない。

【関係者評価】

・特にありません。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	4
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	4
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	4
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	3
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

- ・退学とかは多いけど、先生達はしっかり説明を聞いてくれてとても心強いです。
- ・合同ガイダンスなど、福岡の知らせが欲しかった。

【改善のための方策】

- ・退学についての改善は毎年強化しているが、その前の対応として個別対応に力を入れている。

【関係者評価】

・特にありません。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1)基本的生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	4
(2)学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3)学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	4
(4)進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・美容の楽しさを伝えてほしい。職業選択の幅が広がり、まつエクやブライダル就職を考えている学生が増えているが、美容師を辞めて、そちらの職業に流れるのではなく、一つのことをしっかりやって、広げてほしい。

・まつエクを希望する学生が増えているのであれば、学校としてもっと窓口を増やす必要があると思う。

・保護者アンケートの「卒業まで見通した就職指導、支援」に対する質問に対し、評価が低いのは、生徒の不満の表れではないかと思うので、生徒の要望を取り入れる環境を作るといいと思う。

・保護者として子供から聞く学校の内容は、入学前学修会、宿泊学修における仲間づくりや、日頃の授業で美容師としての基本をしっかり教えてもらっているということが、よく分かる。

(5) 特別活動等

設 問	自己評価
(1) クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(6) 学修成果

設 問	自己評価
(1) 学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	4
(2) 学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	4
(3) 学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(7) 学生支援

設 問	自己評価
(1) 学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	3
(2) 学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	3
(3) 学校は、学生相談に関する体制を整備している。	3
(4) 学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	3
(5) 学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	3
(6) 学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(8) 教育環境

設 問	自己評価
(1) 学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2) 学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的実施し、学生の感性や創造性の向上を目指している。	4
(3) 学校は、防災訓練を定期的に行っている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(9) 学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1) 学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
(3) 学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(10)財務

設 問	自己評価
(1)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
(2)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
(3)財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4)財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(11)法令などの遵守

設 問	自己評価
(1)法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2)個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3)自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
(4)自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(12)社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
(2)学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3)地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

平成 30 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会 開催記録

開催日時 平成 30 年 11 月 26 日 (月)

開催時間 13 : 30 ~ 15 : 00

開催場所 長崎県美容専門学校 2F

出席者 森田 清美 (地域住民代表)
岩瀬 健一 (企業等評価委員 卒業生代表
ヘアサロン crossover play 代表)
古川 義博 (企業等評価委員 卒業生代表
Deicy & Co 代表) 委員長
松本 ゆかり (保護者代表)

1. 議 題

- 1 平成 30 年度 退学者・入学願書出願・オープンキャンパス参加数現況報告
- 2 平成 30 年度 後期学校自己点検・評価報告
- 3 次回日程の確認、検討事項

2. 議事の経過要領

1. 定刻、委員長が開会を宣し上記の通り、全員の委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。
2. 議題 1 の概要説明後、委員より意見なし。
3. 議題 2 の概要説明後、委員より下記の意見を頂いた。

【委員】 自治会として、今回初めて 1000 人程参加する地域の行事に参加してもらい、すごく盛り上がった。また、弊校生徒からの感想文をもらい嬉しかった。積極的に行動し、子供たちに声をかけ、皆大変喜んでいた。

【委員】 警察の指導で、不審者を見かけた場合の対処法として、「声をかけずに 110 番」となっているが、KENBI の学生は、容姿に

よる判断が容易で、地域ぐるみで見守る体制が整っている為、地域の風紀を乱すような行動を目撃する場合は、報告、連絡、相談をすることとしている。また、近年自治会では、生徒に対する苦情は一切出していない。

【委員】 (校則違反者について) 校則を細分化するよりは、人間的に社会が迷惑になるということを伝えることが重要。社会人として、人として、してはいけないことを継続的に指導する。例えばその場の掃除など身をもって体験させるなど。

【委員】 外部のイベントに積極的に参加させ、地域社会と触れ合うことで、自分の役割について明確になり、自然とお客様への対応ができるようになると思います。

【委員】 KENBI を知らない人が長崎で結構多いので、イベントの告知時には小さなチラシを作ってPRをすることを心掛ける。また、出身校にも送付、ガイダンス時にも持参したほうが良い。

【委員】 オープンキャンパス開催日数について、日数を減らし、ゲストを呼ぶなどして、将来像が見えるようにしたほうが良い。

【委員】 ハロウィンやヘアショーなど、クオリティーの高いものを提供してほしい。

【委員】 入学に際して、入学金の差で、専門学校を選ぶ学生が増えている。

【委員】 最近の保護者は、子供と長く関わりたい方が多いように思われるので、もっと保護者と接する機会を増やすとよい。そうすることで、妹や弟の入学につながるのではないだろうか。また、来年はミレニアムベビーが進学する年になるので、より一層その傾向が高まるのではないだろうか。

4. 次回開催日程の確認と懸念事項が検討された。

以上を持って平成 30 年度第 2 回学校関係者評価委員会が終了したので、委員長は閉会を宣した。

平成30年度 学校関係者評価委員会

平成30年11月26日

番号	委員名	署名
1	岩崎 博圓	欠席
2	森田 清美	森田 清美
3	古川 秋利	欠席
4	委員長 古川 義博	古川 義博
5	岩瀬 健一	岩瀬 健一
6	松本 ゆかり	松本 ゆかり

平成30年度 長崎県美容専門学校 自己点検・評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
(2)学校は、学習指導、生活指導をととして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	3
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

【意見】

- ・教科によって差があると思う。
- ・先生方が熱心なので、頑張れます。

【改善のための方策】

- ・教職員研修を改めて行い、教育水準向上と理念、基本方針等の周知を徹底する。

【関係者評価】

- ・特にありません。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
(3)運営組織や意思決定機能は、定期的に明確化されているか、また有効に機能しているか	3
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	3
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

- ・化学の授業の進むスピードが速すぎて、内容が全然入ってこない。だから、ゆっくり分かりやすくしてほしいです。
- ・生活態度については、まだ改善点が多いと思います。
- ・カット等あまり細かくおそわらないので少しわかりづらいです。

【改善のための方策】

- ・教員同士の連携を図り、教育レベルを統一させる。

【関係者評価】

・特にありません。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	3
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	3
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	3
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	4
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1)基本的な生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	3
(2)学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3)学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	3
(4)進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・難しい問題にはついては、行政と連携をとり、専門的な解決、支援を行う。

【関係者評価】

・(校則違反者について)校則を細分化するよりは、人間的に社会が迷惑になるということを伝えることが重要。社会人として、人として、してはいけないことを継続的に指導する。例えば、その場の掃除など身をもって体験させるなど。

(5) 特別活動等

設 問	自己評価
(1) クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(6) 学修成果

設 問	自己評価
(1) 学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	4
(2) 学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	4
(3) 学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	4

【意見】

・学修成果についてはサポートが足りない部分はあると思います。

・先生達はかなりサポートして下さっていると思います。

【改善のための方策】

・教職員一丸となり、学生を見守る体制作りを行う。

【関係者評価】

・特にありません。

(7) 学生支援

設 問	自己評価
(1) 学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	4
(2) 学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	4
(3) 学校は、学生相談に関する体制を整備している。	4
(4) 学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	4
(5) 学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	4
(6) 学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	3

【意見】

- ・保護者への理解度には差があると思いますが、仕方ないかと思います・・・。
- ・放課後教えている先生もいて、良いと思う。

【改善のための方策】

- ・教員の事務連絡についての合理化を推進し、実技指導、面談などに力を入れていく。

【関係者評価】

- ・最近の保護者は、子供と長く関わりたい方が多いように思われるので、もっと保護者と接する機会を増やすとよい。そうすることで、妹や弟の入学につながるのではないだろうか。また、来年はミレニアムベビーが進学する年になるので、より一層その傾向が高まるのではないだろうか。

(8)教育環境

設 問	自己評価
(1)学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2)学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的に行っており、学生の感性や創造性の向上を目指している。	4
(3)学校は、防災訓練を定期的に行っている。	4

【意見】

- ・イベント等が多いが、BAP等に向けた生徒の姿勢には温度差があるのが気になります。
- ・BAPはすごくありがたいです。

【改善のための方策】

- ・学生一人一人に合わせた環境作りは難しいが、できるだけ要望に応えられた環境整備を行う。

【関係者評価】

- ・ハロウィンやヘアショーなど、クオリティーの高いものを提供してほしい。

(9)学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1)学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2)学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
(3)学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

- ・特にありません。

【改善のための方策】

- ・情報収集を充分に行い、本校独自の魅力ある活動を行っていく。

【関係者評価】

・KENBIを知らない人が長崎で結構多いので、イベントの告知時には小さなチラシを作ってPRをすることを心掛ける。また、出身校にも送付、ガイダンス時にも持参したほうが良い。

・オープンキャンパス開催日数について、日数を減らし、ゲストを呼ぶなどして、将来像が見えるようにしたほうが良い。

・入学に際して、入学金の差で、専門学校を選ぶ学生が増えている。

(10)財務

設 問	自己評価
(1)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
(2)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
(3)財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4)財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(11)法令などの遵守

設 問	自己評価
(1)法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2)個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3)自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
(4)自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(12)社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3
(2)学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3)地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・地域との連携を更に深め、よりよい関係性を構築していく。

【関係者評価】

・自治会として、今回初めて1000人程参加する地域の行事に参加してもらい、すごく盛り上がった。また、幣校生徒からの感想文をもらい嬉しかった。積極的に行動し、子供たちに声をかけ、皆大変喜んでいた。

・警察の指導で、不審者を見かけた場合の対処法として、「声をかけずに110番」となっているが、KENBIの学生は、容姿による判断が容易で、地域ぐるみで見守る体制が整っている為、地域の風紀を乱すような行動を目撃する場合は、報告、連絡、相談をすることとしている。また、近年自治会では、生徒に対する苦情は一切出していない。

・外部のイベントに積極的に参加させ、地域社会と触れ合うことで、自分の役割について明確になり、自然とお客様への対応ができるようになると思います。